交付運用報告書

Asset Management One

# USストラテジック・インカム・ファンド　Bコース（為替ヘッジなし）
# ＜愛称：債券王＞

追加型投信／内外／債券

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。
当ファンドは、円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的に米ドル建て米国債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**作成対象期間 2026年２月25日～2026年８月24日**

| | |
|---|---|
| 第156期 | 決算日：2026年３月23日 |
| 第157期 | 決算日：2026年４月23日 |
| 第158期 | 決算日：2026年５月25日 |
| 第159期 | 決算日：2026年６月23日 |
| 第160期 | 決算日：2026年７月23日 |
| 第161期 | 決算日：2026年８月24日 |

| | | |
|---|---|---|
| 第161期末（2026年８月24日） | 基準価額 | 8,523円 |
| | 純資産総額 | 6,263百万円 |
| 第156期～第161期 | 騰落率 | 0.6% |
| | 分配金合計 | 150円 |

（注１）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
（注２）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

**当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。**

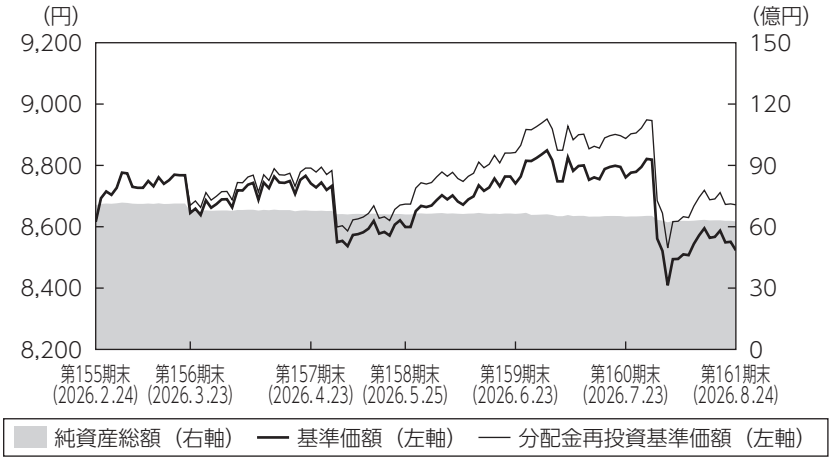

**■運用報告書に関するお問い合わせ先**

コールセンター **0120-104-694**
（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-2　https://www.am-one.co.jp/

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移




第156期首：　8,616円
第161期末：　8,523円
（既払分配金150円）
騰　落　率：　0.6%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

債券部分は、米国債利回りが上昇（価格は下落）し、信用スプレッドが拡大した環境下、国債やモーゲージ債などの保有がマイナス寄与となりました。為替部分は、米ドルが対円で上昇しプラス寄与となりました。為替部分のプラス寄与が債券部分のマイナス寄与を上回ったことから、基準価額は上昇しました。

**◆組入ファンドの当作成期間の騰落率**

| 組入ファンド | 騰落率 |
|---|---|
| ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラス | 1.1% |
| ＤＩＡＭマネーマザーファンド | 0.4% |

（注）ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## １万口当たりの費用明細

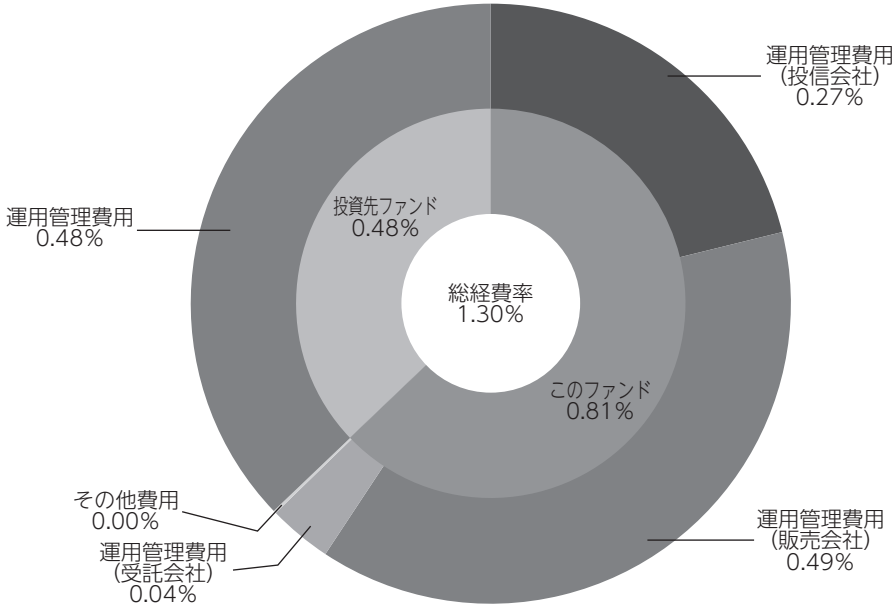
| 項目 | 第156期～第161期<br>(2026年２月25日<br>～2026年８月24日) | | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (ａ) 信託報酬 | 35円 | 0.403% | (ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>期中の平均基準価額は8,692円です。 |
| (投信会社) | (12) | (0.136) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (21) | (0.245) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | ( 2) | (0.022) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (ｂ) その他費用 | 0 | 0.001 | (ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (監査費用) | ( 0) | (0.001) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| 合計 | 35 | 0.404 | |

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注４) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

**（参考情報）**

◆総経費率

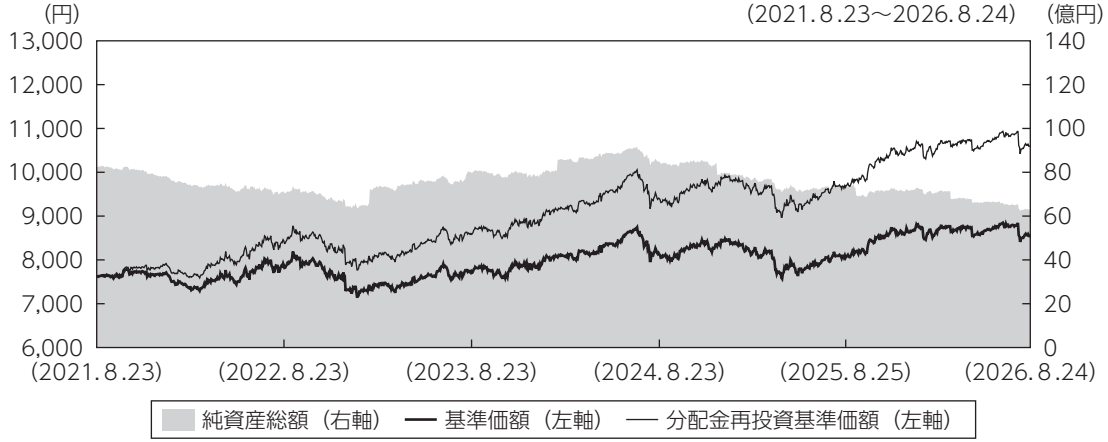
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.30％です。




| | |
|---|---|
| 総経費率（①＋②） | 1.30% |
| ①このファンドの費用の比率 | 0.81% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.48% |

（注１）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近５年間の基準価額等の推移




（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、2021年８月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | 2021年8月23日<br>期首 | 2022年8月23日<br>決算日 | 2023年8月23日<br>決算日 | 2024年8月23日<br>決算日 | 2025年8月25日<br>決算日 | 2026年8月24日<br>決算日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額（分配落）　(円) | 7,624 | 7,873 | 7,698 | 8,129 | 8,045 | 8,523 |
| 期間分配金合計（税引前）　(円) | － | 525 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率　(%) | － | 10.6 | 1.7 | 9.6 | 2.7 | 9.7 |
| 純資産総額　(百万円) | 8,240 | 7,093 | 7,966 | 8,473 | 7,295 | 6,263 |

（注）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

## 投資環境

米国債券市場は10年国債利回りが前作成期末比で上昇しました。2026年５月中旬までは、米国とイランの軍事衝突を背景とした原油価格の上昇から10年国債利回りは上昇しました。その後、６月にかけては、米国とイランの和平合意観測による原油価格の下落から低下する局面もありましたが、作成期末にかけては、再度原油価格が上昇し、ＦＲＢ（米連邦準備理事会）のインフレ抑制に対する強い姿勢が意識されたことなどから上昇しました。

為替市場では、米ドルが対円で前作成期末比で上昇しました。米国によるイランへの軍事攻撃を受けて、有事のドル買いから、2026年４月にかけて米ドルは対円で上昇しました。その後、為替介入とみられる動きから円が急騰する局面もありましたが、日銀の政策対応が後手に回るとの見方から、７月にかけて米ドル高円安となりました。７月末の日米協調介入を受けて、再度円が急騰する局面もありましたが、作成期末にかけては、ＦＲＢの利上げ観測から米ドル高円安となりました。

国内短期金融市場では、３ヵ月国庫短期証券利回りは0.75％程度で始まりましたが、日銀が2026年６月に政策金利を引き上げたことから、当作成期末にかけて同利回りは上昇しました。

## ポートフォリオについて

●当ファンド

ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラスの組入比率は原則として高位を維持し、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラス

作成期初は、米国経済が底堅く推移しているとの見方から、社債や証券化商品などのクレジットセクターを選好する姿勢を維持しました。クレジットセクター内では投資適格社債およびハイイールド社債の配分を抑制する一方、相対的に魅力的なリスク・リターン特性を有すると判断した証券化商品については高位の組み入れを維持しました。

●ＤＩＡＭマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

## 分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

| 項目 | 第156期 | 第157期 | 第158期 | 第159期 | 第160期 | 第161期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2026年2月25日～2026年3月23日 | 2026年3月24日～2026年4月23日 | 2026年4月24日～2026年5月25日 | 2026年5月26日～2026年6月23日 | 2026年6月24日～2026年7月23日 | 2026年7月24日～2026年8月24日 |
| 当期分配金（税引前） | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 |
| 対基準価額比率 | 0.29% | 0.29% | 0.29% | 0.29% | 0.28% | 0.29% |
| 当期の収益 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 |
| 当期の収益以外 | －円 | －円 | －円 | －円 | －円 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 2,646円 | 2,652円 | 2,652円 | 2,658円 | 2,661円 | 2,662円 |

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラスを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラス

中東情勢を巡る不確実性の継続を背景に、原油価格の高止まりとそれを受けたインフレ再燃への警戒感が強まっています。こうした中、ＦＲＢの政策姿勢がよりタカ派寄りとなっていることに加え、底堅い米国景気や、社債市場におけるＡＩ関連の起債増加などを背景に、利回りには上昇圧力がかかりやすい状況が続いています。依然として信用スプレッドが歴史的にタイトな水準で推移していることから、バリュエーション面での選別が一段と重要になっていると考えます。今後も機動的に資産配分を調整しながら、元本保全とリスク調整後リターンの獲得を目指す方針です。

●ＤＩＡＭマネーマザーファンド

日銀は2026年７月の金融政策決定会合で、政策金利を1.0％とする金融政策を維持しました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米で見られた形の急激な金利引き上げは回避すると想定されます。そのため、今後も公社債等への投資を通じ、安定的な運用を目指します。

## お知らせ

**約款変更のお知らせ**

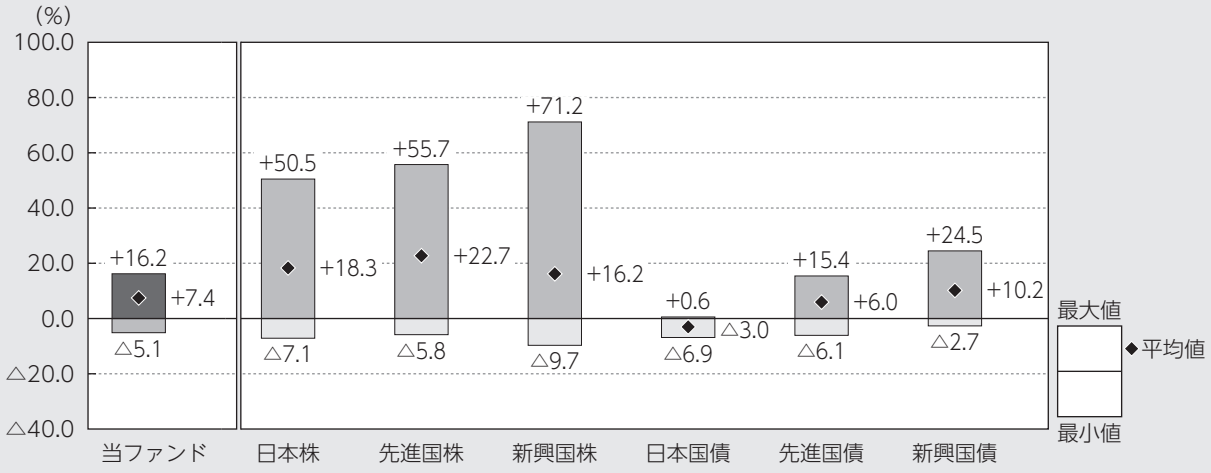
■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「ＤＩＡＭマネーマザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

（2026年４月１日）

## 当ファンドの概要

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／債券 | |
| 信託期間 | 2013年３月８日から2028年２月24日までです。 | |
| 運用方針 | 信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | USストラテジック・インカム・ファンドBコース（為替ヘッジなし） | 円建て外国投資信託である「ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ　ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラス」の投資信託証券を主要投資対象とします。また、証券投資信託であるＤＩＡＭマネーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。 |
| | ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス | 米ドル建て米国債券(*)を主要投資対象とします。<br>（*）主要投資対象となる米ドル建て米国債券の主な債券種類は、米国の国債、政府機関債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債等です。なお、米ドル建て非米国社債等に投資する場合があります。 |
| | ＤＩＡＭマネーマザーファンド | 国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにＣＤ、ＣＰ、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的に米ドル建て米国債券に投資します。<br>外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。<br>実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 | |
| 分配方針 | 決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 | |

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較




2021年８月～2026年７月

（注１）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注３）当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

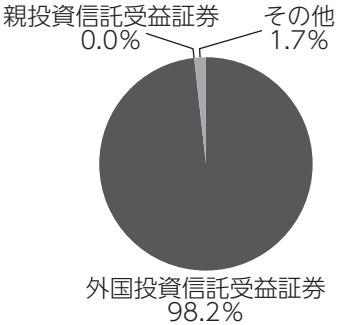
### 当ファンドの組入資産の内容（2026年８月24日現在）

◆組入ファンド等　　（組入ファンド数：２ファンド）

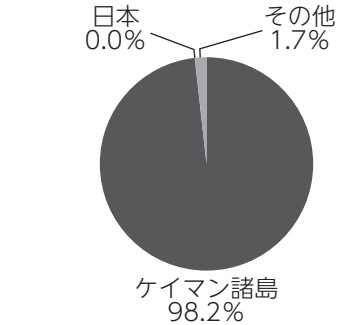
| | 第161期末 |
|---|---|
| | 2026年８月24日 |
| ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラス | 98.2% |
| ＤＩＡＭマネーマザーファンド | 0.0 |
| その他 | 1.7 |

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

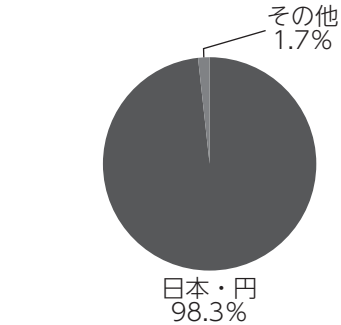
◆資産別配分




◆国別配分




◆通貨別配分




（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。
（注３）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

### 純資産等

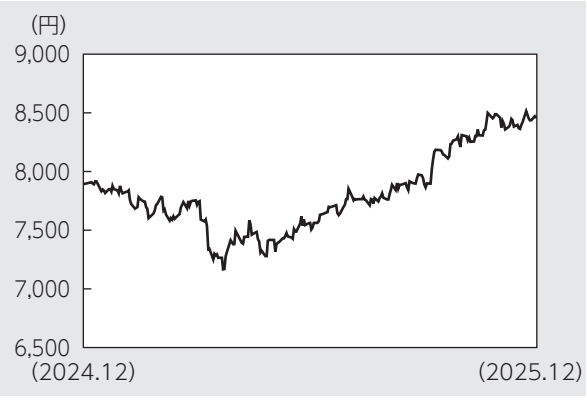
| 項目 | 第156期末 | 第157期末 | 第158期末 | 第159期末 | 第160期末 | 第161期末 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2026年３月23日 | 2026年４月23日 | 2026年５月25日 | 2026年６月23日 | 2026年７月23日 | 2026年８月24日 |
| 純資産総額 | 6,766,418,413円 | 6,782,370,843円 | 6,599,560,777円 | 6,630,721,962円 | 6,495,225,408円 | 6,263,613,646円 |
| 受益権総口数 | 7,826,726,109口 | 7,758,855,825口 | 7,674,829,914口 | 7,586,140,548口 | 7,414,114,576口 | 7,348,882,793口 |
| 1万口当たり基準価額 | 8,645円 | 8,741円 | 8,599円 | 8,741円 | 8,761円 | 8,523円 |

（注）当作成期間（第156期～第161期）中における追加設定元本額は33,035,745円、同解約元本額は868,620,004円です。

## 組入ファンドの概要

**［ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラス］**（計算期間　2025年1月1日～2025年12月31日）

◆基準価額の推移



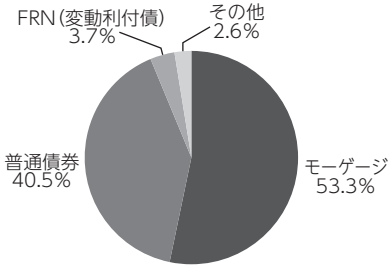

◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|---|---|---|
| UNITED STATES OF AMERICA BDS 4% 25-15/11/35 | アメリカ・ドル | 6.5% |
| UNITED STATES OF AMERICA BDS 4.625% 25-15/11/45 | アメリカ・ドル | 3.5 |
| UNITED STATES OF AMERICA BDS 4.75% 25-15/8/55 | アメリカ・ドル | 3.4 |
| UNITED STATES OF AMERICA BDS 3.375% 25-31/10/27 | アメリカ・ドル | 2.7 |
| UNITED STATES OF AMERICA BDS 3.375% 25-30/11/27 | アメリカ・ドル | 2.1 |
| UNITED STATES OF AMERICA BDS 3.5% 25-30/11/30 | アメリカ・ドル | 1.2 |
| UNITED STATES OF AMERICA BDS 3.75% 25-30/11/32 | アメリカ・ドル | 1.2 |
| FEDERAL NATIONAL MORTGAGE ASSOCIATION MTGE 2.5% 22-1/3/62 | アメリカ・ドル | 1.1 |
| FEDERAL HOME LOAN BANK MTGE 3.5% 18-1/12/47 | アメリカ・ドル | 1.0 |
| CF HIPPOLYTA ISSUER LLC 1A A2 MTGE 6.11% 22-15/8/62 | アメリカ・ドル | 1.0 |
| 組入銘柄数 | 377銘柄 | |

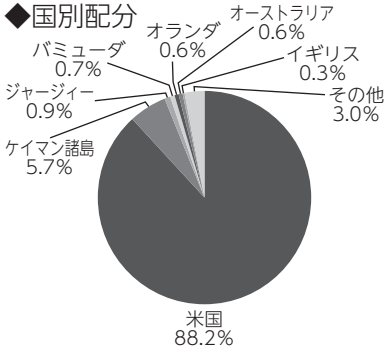
◆１口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

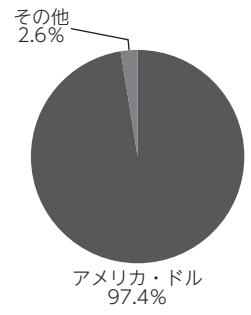
◆資産別配分




◆国別配分




◆通貨別配分




（注１）基準価額の推移はＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラスの計算期間のものです。また、当期における分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

（注２）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンドの決算日現在の状況を表示しております。

（注３）比率はＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

（注４）現金等はその他として表示しています。

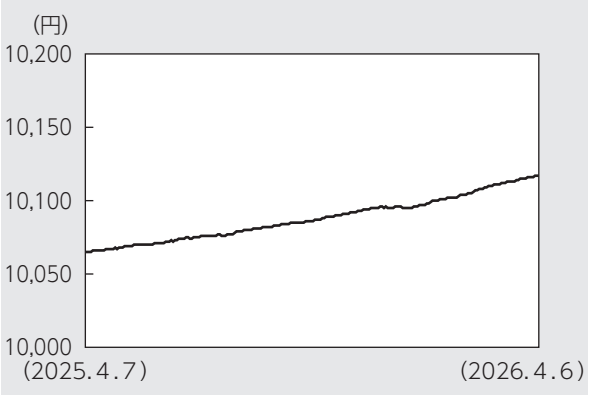
（注５）上位８位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

（注６）「ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラス」は、「Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド」を構成する個別クラスとなっております。

（注７）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるステート・ストリート・バンク・インターナショナルＧｍｂＨ、ルクセンブルク支店のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

**［ＤＩＡＭマネーマザーファンド］**（計算期間　2025年４月８日～2026年４月６日）

◆基準価額の推移



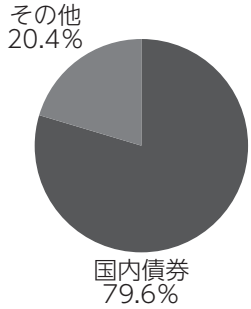

◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|---|---|---|
| １３７１回　国庫短期証券 | 日本・円 | 13.7% |
| １３６５回　国庫短期証券 | 日本・円 | 9.1 |
| １３６８回　国庫短期証券 | 日本・円 | 9.1 |
| １３４５回　国庫短期証券 | 日本・円 | 9.1 |
| １３００回　国庫短期証券 | 日本・円 | 4.6 |
| ４６０回　利付国庫債券（２年） | 日本・円 | 4.6 |
| １３５８回　国庫短期証券 | 日本・円 | 4.6 |
| １３６２回　国庫短期証券 | 日本・円 | 4.6 |
| １３６６回　国庫短期証券 | 日本・円 | 4.6 |
| １３１３回　国庫短期証券 | 日本・円 | 4.6 |
| 組入銘柄数 | 13銘柄 | |

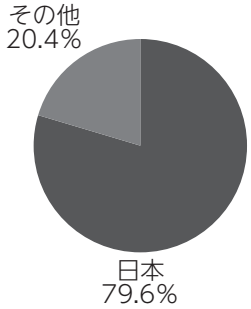
◆１万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

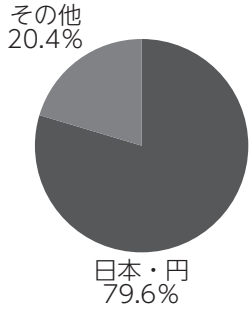
◆資産別配分




◆国別配分




◆通貨別配分




（注１）基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注３）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注４）現金等はその他として表示しています。
（注５）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

**＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞**

●「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。

●「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣが有しています。

●「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（このページは白紙です）


Asset
Management
One